

② 青少年劇場

青少年に対し、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、青少年の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の醸成に資することを目的とし県内2ヵ所で開催した。

種 目	オーケストラ	歌 舞 伎
期 日	7 月 26 日	8 月 3 日
会 場	いわき市市民会館	福島県文化センター
主 催	文化庁 福島県教育委員会 いわき市教育委員会	文化庁 福島県教育委員会 福島市教育委員会 (助)福島県文化センター
鑑賞者数	1,599人	995人
対 象	14歳～19歳の青少年	14歳～19歳の青少年
公演団体	読売日本交響楽団	松竹大歌舞伎
演 目	チャイコフスキー 交響曲第4番へ短調 作品36	歌舞伎18番 「鳴神」1幕
出演者等	指揮 外山 雄三 ピアノ 弘中 孝 管弦楽 読売日本交響楽団	中村富十郎、中村松江ほか

③ こども芸術劇場

こどもに対し、その成長段階に応じた舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、その豊かな情操の醸成を図り、もって健全な成長に資することを目的とし、県内2ヵ所で開催した。

種 目	合 唱	合 唱
期 日	8 月 26 日	8 月 27 日
会 場	会津若松市民会館	二本松市民会館
主 催	文化庁 福島県教育委員会 会津若松市教育委員会	文化庁 福島県教育委員会 二本松市教育委員会
鑑賞者数	1,185人	1,281人
対 象	10歳～13歳	10歳～13歳
公演団体	東京混声合唱団	東京混声合唱団
演 目	世界の名曲、みんなの歌等	世界の名曲、みんなの歌等
出演者等	指揮 宮本 昭嘉 ピアノ 堀井 和子	指揮 宮本 昭嘉 ピアノ 堀井 和子

④ 第3回県展移動展

地方に優れた芸術文化を紹介することによって、地方特有の文化を高め、みずからの文化を創造する力を育てる目的で、昭和44年から実施してきた「福島地方巡回展」を昭和52年から内容の充実と部門の拡大を図り、「県展移動展」と名称を改めた。本年は、その4年目で移動した作品100点は、第34回県展に出品された招待及び受賞等の作品であり、多彩で質の高い内容により各会場とも好評を博した。

ア 期日・会場・観覧者

6月26日～6月29日	浪江町民体育館	5,434人
7月3日～7月6日	東村民体育館	1,710人
7月10日～7月13日	平田勤労者体育センター	1,320人
7月17日～7月20日	猪苗代町民体育館	1,864人
7月24日～7月27日	南郷体育館	1,518人
7月31日～8月3日	保原町体育館	1,141人
		(計 12,987人)

イ 展示数

日本画20点、洋画35点、彫塑15点、工芸美術15点、書15点 計 100点

⑤ 県収蔵美術品巡回展

県教育委員会では、昭和45年に県文化センターを設立し、その中に県美術博物館を併設して以来、県出身者及び本県にゆかりのある優れた美術品を収集し現在までに400点余を越え、昭和46年から県文化センター展示室において、収蔵美術展として一般公開してきた。

しかし、県域が広いことから、より多くの県民の鑑賞に供するため、「県収蔵美術品巡回展」を開催することとし、県内各都市を巡回展覧しているものである。本年は、原町市、田島町、二本松市の3ヵ所で開催した。

ア 期日・会場・鑑覧者

(ア) 昭和55年10月25日～28日	原町市文化センター	4,874人
(イ) 昭和55年11月1日～4日	田島町民体育館	2,633人
(ウ) 昭和55年11月8日～11日	二本松市歴史資料館	1,602人
		(計 9,109人)

イ 展示数

日本画15点、洋画15点、彫塑10点、工芸美術10点、書10点 計 60点

(2) 芸術文化活動の促進

① 県芸術祭

9月から11月までの3ヵ月を期間として、県中地区で14の主催行事が実施されるとともに、県下全域において、51の参加行事が実施された。参加行事の部門別内訳は音楽11、演劇5、文学3、舞踊6、美術20、その他6であった。